

---

## 認知症についての正しい理解と予防を

～認知症の街頭啓発に参加しました～

---

先般、高齢者のうち4人に1人が発症、またはその予備群（軽度の認知障害）であることが発表され、大きな社会問題となっている認知症については、今後さらに増加することが予想されており、たとえ認知症になっても、その人が住み慣れたところでその人らしく生活を継続できるようにするためには、認知症についての正しい知識を身に付けることが大切です。



こうしたなか、認知症について普及啓発を図り、関心を持ってもらおうと、去る9月19日、藍住町にあるショッピングセンター「ゆめタウン」において「認知症の街頭啓発」が行われ、関係団体などから約30名が参加しました（老人クラブ5名）。

飯泉嘉門徳島県知事から認知症の現状などについての挨拶のあと、4カ所に分かれて啓発のチラシ等の配布を行いました。

